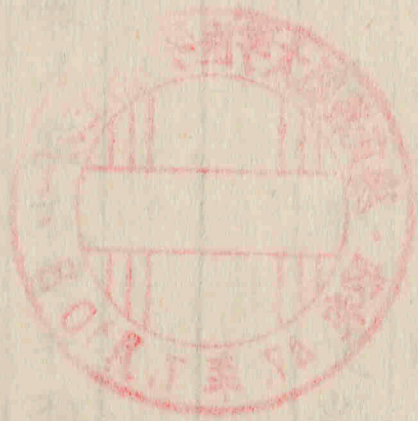




F³
カ-21

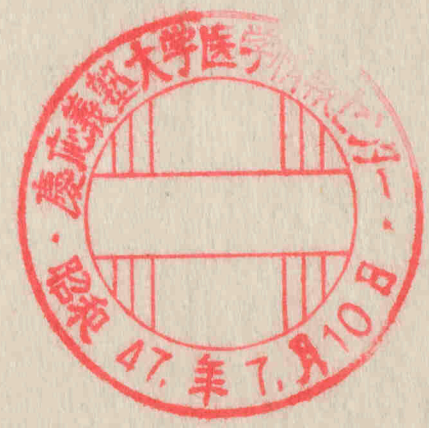


上海圖書館藏

丁巳年

491.1
Ka-2
3

No. 780



富士川文庫

2430

解剖訓蒙卷之三

米利堅 解剖學教頭約瑟列第著

日本本文部少教授松村矩明譯

骨論

上肢

上肢ハ、軀骸ノ左右、即チ兩旁ニ在テ、胸膛ヨリ懸
垂シ、唯タ鎖骨ノ内端ヲ以テ連接スルノミ、故ニ
吾人若シ鎖骨無ケレハ、獸畜ノ如ク、前脚ト軀骸
トノ繫約有ラサルヘシ、其造構ハ、左右共ニ、三十
四骨ニシテ、即チ肩膊骨二箇、上臂骨一箇、下臂骨

解剖訓蒙 卷之三

二箇、手腕ノ諸骨二十九箇ナリ、

肩膊骨

肩膊骨ハ、即チ鎖骨、肩胛骨ノ二箇ニシテ、甲ハ、胸骨及ヒ第一肋ニ联接シ、乙ハ、上臂骨ニ聯合ス、

鎖骨

鎖骨カラウ井キユテ又圍項骨コルラルハ、胸膛ノ上部ノ

正面ニ於テ、胸骨ト肩頭突起ノ中間ニ横居シ、其式圓柱狀ニシテ、S字形ニ屈曲ス、其方向ハ、肩端ニ於テハ、凸部后方ニ向キ、胸端ニ於テハ、凸部前方ニ向ク、此骨、男子ニ在テハ、厚且ツ大ニシテ、愈

甲カ
カラウ井キユテ
全カラウ井ス
全クレージファン

甲
エキストリミタス
ステルナリス

乙
エキストリミタス
アクロミアリス

強ク屈曲シ、殊ニ壯年ノ人ニ於テ、尤モ然リトス

胸端ステルナリス、巨大ニシテ不正ナル三角面ヲ

有ス、此面、半ハ胸骨ニ連リ、半ハ靱帯ノ依附スル

所ナリ、肩端アクロミアハ、扁平ニシテ細小ナル

關節面ヲ有シ、以テ肩頭突起ニ联接ス、

上面ハ、唯々皮膚ト皮下ノ筋莖ヲ以テ被覆スル

ノミ、下面ハ、肩胛骨ノ烏啄突起、及ヒ肋骨ノ第一

片ニ對向シテ、靱帯ノ着痕ヲ有ス、

鎖骨ハ、上肢ヲ維持スルニ於テ、尤モ緊要ナリ、何

トナレハ、其軀骸ヲ距離セシムルノ好節度ヲ與

甲
ホツサ、インフラス、ヒ
ナチユス

下部ハ、大ニシテ **棘下窩** インス、ホツサ、ヒト 稱ス、共
ニ同名筋、茲ニ填充ス、

乙
ホツサ、グレノイデア
アシテビユリコム、
ヒユノリ

上縁 ルシユペドリヨハ、短ニシテ薄ク、外方ニ於テ截
間アリ、**鳥啄截間** ドコラサコイト 稱ス、此上ニ纖維軟

丙
ホラメン、コラコイ
コイ、デア

帶横行シ、乃チ孔ト爲ル、之ヲ **鳥啄孔** ホコラコイ、
ト稱ス、**后縁** ルボステドリヨ 又 **基礎** スベ ハ、最長ニシ

丁
ホラメン、コラコイ
コイ、デア

テ、全徑略ホ彎曲シ、諸筋茲ニ依附ス **下縁** リイン、
薄ルハ、厚シテ、其中央即チ全徑ノ半ハ、溝ヲ有シ、

戊
ヴェルテ、ラズ、ボルドル
バ
コス、タイ、ニ、ユリ、ヨル

而テ腋下ニ斜向シ、其上部ニ於テ、粗疎ナル壓痕
ヲ有ス、是レ三頭伸筋ノ長頭ノ着痕ナリ、

上角 ルシユペドリヨハ、薄フシテ、即チ上后二縁ノ會
合スル所ナリ **下角** ルイン、厚フシテ、外方

擴張シ、大圓筋ノ起端ヲ附ス **外角** ルエキ、
充實ニシテ、堅ニ楕圓ナル淺キ凹陷アリ、**淺窩**

カダレノ井ト、ト稱ス、此周圍隆起シテ、鈍縁ヲ爲シ、
以テ限界ス、即チ肩關節ノ一部ナリ窩ヲ維持ス

ル所絞窄ス、之ヲ **肩胛頸** 子ツキ、ラブ、ゼ、ト稱ス、
棘 イン、ハ、三突起中ノ尤顯著、且剛大ナル者ニシ

テ、其式、三角形ノ一板ナリ、后面ヨリ斜ニ后上方
ニ突出シ、棘上棘下ノ二窩ヲ分界ス其前縁ハ彎

丙
セル、ヒ、キ、ス、カ、ヒ、ユ、ラ

丁
ス、ヒ、ナ、ス、カ、ヒ、ユ、ラ

乙
ホツサ、グレノイデア
アシテビユリコム、
ヒユノリ

甲
コル、ヒ、ユ、ス、ス、カ、ヒ、ユ、ラ

上角 ルシユペドリヨハ、薄フシテ、即チ上后二縁ノ會
合スル所ナリ **下角** ルイン、厚フシテ、外方
擴張シ、大圓筋ノ起端ヲ附ス **外角** ルエキ、
充實ニシテ、堅ニ楕圓ナル淺キ凹陷アリ、**淺窩**
カダレノ井ト、ト稱ス、此周圍隆起シテ、鈍縁ヲ爲シ、
以テ限界ス、即チ肩關節ノ一部ナリ窩ヲ維持ス
ル所絞窄ス、之ヲ **肩胛頸** 子ツキ、ラブ、ゼ、ト稱ス、
棘 イン、ハ、三突起中ノ尤顯著、且剛大ナル者ニシ
テ、其式、三角形ノ一板ナリ、后面ヨリ斜ニ后上方
ニ突出シ、棘上棘下ノ二窩ヲ分界ス其前縁ハ彎

甲
アクロミウム
アコロリウム
カピソト、スカピエラ

乙
プロレシユス、コラ
コイ、テイユス
プロセシユス、ヲシ
シ十千ユス
プロセシユス、コル
ニキユラリス

入シ、厚且ツ鈍圓ニシテ、肩胛頭ノ上方ヲ掩襲ス
后縁ハ、即チ基礎ヨリ起リ、始ハ三角形ノ扁平面
ヲ有シ、次ニ厚大且ツ圓形ニ延長シ、而テ僧帽筋、
潤背筋、茲ニ依附ス。前後二縁ノ會合スル所ヨリ、
外方ニ延長シタル、廣濶ナル突起アリ、肩頭突起
アクロント稱ス、肩關節ノ上方ニ懸垂シテ、肩頭ヲ
造爲ス、矩明按スルニ棘ノ后縁闊背筋ヲ附スト
云ハ、恐ク是レ三角筋ノ謬誤ナルヘシ
淺窩ノ上方ニ、剛大ナル鉤狀ノ突起アリ、鳥喙突
起、プロラコイド、ト稱ス、外前方ニ屈曲シ、肩關節ノ
正面ニ對向ス、其基礎及ヒ尖端、共ニ結節ヲ有シ、

韌帶ヲ附ス突起ノ后方ハ、即チ鳥喙截間ナリ、
肩胛骨ハ、全然始ト筋ニテ被包セラレ、然レ皮膚
下ニ於テ、容易ニ觸知スヘキ所アリ、即チ棘ノ后
縁ト、肩頭突起是ナリ、殊ニ羸瘦セル者ニ於テ、尤
モ然リトス。諸突起及ヒ諸縁ハ、其實、厚剛ナレ、
棘上棘下ノ二窩ハ、薄板ニシテ、透見スヘク、時ト
シテハ、不全ニシテ、缺漏スルヲアリ尋常棘ノ基
礎ニ於テ、一二ノ大孔アリ、以テ滋養血管ヲ通セ
リ、

上臂及ヒ下臂骨

上臂骨ハ、一箇ニシテ、肩胛骨ノ淺窩ニ聯接シ、稍
ヤ前方ニ向テ、鉛直ニ下垂シ、即チ上臂ヲ造爲ス
下臂骨ハ、二箇ニシテ上臂骨ニ連合ス、即チ尺骨
ト撓骨ト相並行シテ、其内ニ間隙ヲ存シ、共ニ稍
ヤ外前方ニ向キ、腕ニ達ス、

上臂骨

上臂骨ヒユメリユス、又、ハ、其式長キ圓柱狀ナリ、
之ヲ幹ト端トニ別ツテ辨説ス、

幹フシヤ又體ハ、其上部ハ、殆ト圓形ニシテ、下

部ハ、三稜形ナリ、其后面サボステリス、ハ、滑澤ニシ

甲
ヲス、ブラキ
ヲス、ヒユメリ
全
ブラキユーム

テ、上方ハ圓凸シ、下方ハ扁平ナリ、都テ三頭伸筋、
之ヲ領セリ、前面サルテリス、ハ、下部ニ至リ、各
側ニ擴張シテ、起線ヲ造ル、是レニ由テ、前后ノ二
面、自ラ分別ス、都テ上臂筋、之ヲ領セリ、

幹ノ中央ニ近ク内方ニ幽微ナル粗疎部アリ、烏
啄上臂筋ノ着痕ナリ、又其中央ヨリ少シ上リテ

外方ニ、廣キ粗疎ナル淺微ノ隆起アリ、三角筋ノ
着痕ナリ、此ノ隆起ト、外髁線ノ間ニ、螺旋狀ノ部

位アリ、后面ノ上部ヨリ起リ、外方ニ旋廻シテ、終
ニ前面ノ下部ニ達ス、是レ上深動脈、螺旋狀神經

ノ行跡ナリ、

幹ノ全徑三分ノ一上部ニ於テ縦溝アリ、**二頭筋**

溝ル、バイルセピダト稱ス、同名筋ノ長頭ノ腱ヲ通ス、

其溝邊内外共ニ起線アリ、**二頭筋線**ル、バイルセピダ

ト稱ス、之ヲ以テ溝部ヲ分界ス、而テ其外方ニ於

ケル者ハ、大胸筋ヲ附着シ、内方ニ於ケル者ハ、濶

背、大圓ノ二筋ヲ附着ス、

上端ト、リル、エキスハ、膨大ニシテ、半球形ノ大結

節ヲ冒ス、乃チ**頭**ト、ハットト稱シ、後内方ニ向キ、肩關節

ノ一部ヲ爲ス、其外側ニ於テ、**結節**シ、チユベロスアリ、

甲
サルキユス、バイセ
ピタリス

甲
セルウキス、ヒユメリ
、アナトミキユム

乙
チユベリキユリユ
ム、マジユス

丙
チユベリキユリユ
ム、マジユス

丁
セルウキス、ヒユメリ
、アナトミキユム

茲ニ一条ノ周圍セル淺溝、即チ**頸**キ、トト稱スル所

アリテ、頭ト結節トヲ分界ス、**結節**ハ、茲ニ二頭筋

溝ノ分界ニ由テ、大小ノ二箇ト為リ、其一箇ハ、外

方ニ在ル者ニシテ、**大結節**ユ、グベロシトル、チト稱シ、

且ツ上方ニ三箇ノ壓凹ヲ有ス、是レ棘上棘下ノ

二筋及ヒ小圓筋ノ着痕ナリ、其一箇ハ、内方ニ在

ル者ニシテ、**小結節**ベ、スモル、チユト稱シ、肩胛下

筋ヲ附着ス、外療家ノ**頸**キ、トト稱スル者ハ、結節直

下ノ絞窄セル所ニシテ、解剖家ノ稱スル頸ニア

ラス、然レモ治療上ノ要便ニ於テハ、外療家ノ目

解小... 七

稱ヲ以テ優レリトス、

下端ストロウル、エキハ、各側ニ擴張シテ、其兩旁共

ニ突出セル結節アリ、之ヲ髌コルステト稱ス、是ヨ

リ起線アリテ上行ス、之ヲ髌線トシテト稱ス、

ス、其内髌コンデールナルハ、尤モ突出シテ、肘關節

ノ内側靱帶、及ヒ短廻前圓筋、及ヒ下臂ノ内側ニ

於ケル、諸屈筋ノ起端ヲ附着ス、外髌ナエキステル

ハ、外側靱帶ヲ附着シ、其髌線ハ、内側ヨリモ尤

モ突出シテ、廻后筋、及ヒ下臂ノ外后部ニ於ケル、

諸伸筋ノ起端ヲ附着ス、

甲
コンデールユス、フ
レキソリユス

乙
コンデールユス、エキス
テンソリユス

全
コンデールユス、エ
キステルニユス

二髌ノ間ハ、關節面ニシテ、中間ニ起線アリテ、内

外ノ二面ニ分ル、其外面ハ、圓ク凸出シテ、撓骨頭

ニ連合シ、内面ハ、滑車トリロチト稱シテ、尺骨ニ聯

接シ、以テ滑轉屈伸ノ用ヲ為ス、其直子ニ上方、即

子幹ノ前面ニ於テ凹窩アリ、下臂、屈ムキハ、其烏

啄突起ノ尖端、茲ニ納ル、又同ク后面ニ於テ、廣大

ナル凹窩アリ、下臂、伸ルキハ、其肱突起ノ尖端、茲

ニ納ル、

幹ノ全徑三分ノ一、下方ノ内側ニ於テ、滋養孔ア

リ、下方ニ穿行シテ、血管ヲ通シ、以テ骨髓ヲ培養

甲キユ、ヒキユス
全ホシール、マジユス
全カシナ、マジヨル、ブラチ

尺骨

尺骨ナルハ、下臂ノ内側ニ位シ、其式、三稜形ニシテ、下方ニ至ルニ隨ヒ、漸次ニ减小シ、其全徑、撓骨ニ比スレハ稍ヤ長シ、

幹シヤハ、前后内ノ三面、及ヒ前后外ノ三縁ヲ有

ス、前面ナルテヨル、ハ、稍ヤ凹陷シテ、深屈指筋

ノ起端ヲ附ス、内面ルイ子ル、サハ、其上方ハ廣濶

ニシテ、亦タ深屈指筋ノ起端ヲ附シ、下方ハ團圓

ニシテ、皮下ニ接ス、后面サルステリヨル、ハ、其上方

甲アクロレニラン
全アンコン
全プロセツユス、アン
全コ子ユス

ニ楕圓ナル淺窩ヲ有シテ、肱筋茲ニ附着シ、下方ハ、扁平ニシテ、拇伸筋ノ起端ヲ附着ス、

三縁中、前后ノ二縁ハ、鈍圓ナリ、外方ノ一縁ハ、薄

銳ニシテ、骨間膜ヲ附着ス、

上端ラッペル、エキスハ、上臂骨ニ接セル關節面ヲ

有スル、尤モ厚大ナル部ニシテ、其末端ニ箇ノ突

起ヲ造ル、其大ニシテ後方ニ在ル者ヲ、肱突起レヲ

クラト稱シ、骨幹ト位線ヲ同シ、又タ其尖端直截

シ、且ツ鈍圓ニシテ、三頭伸筋、茲ニ附着シ、其後部

ハ、三角面ニシテ、皮下ニ直接シ、其小ニシテ前方

甲
プロセツシユス、コロ
メイ、デクユス

ニ在ル者ヲ、**鳥啄突起**プロコロノイドト稱シ、骨ノ正
面ニ突出ス、其基礎ノ前部ハ、粗疎ニシテ、上臂筋
茲ニ附着ス、

乙
カウタス、シグモイ
デア、マジヨル

右ノ二突起ノ中間ヲ、**大半月窩**モグリド、カウター
ト稱シ、上臂骨ノ滑車ニ联接ス、其外側ニ亦夕一
窩アリ、両**小半月窩**イッサル、シグモトト稱シ、**撓骨頭**ニ

丙
カウタス、リユナタ、
マジヨル

連合ス、

下端ストリウル、エキハ細キ圆柱形ニシテ、其末端

ノ圓キ所ヲ**頭**ドハツト稱シ、**撓骨**ニ联接ス、其后内

方ニ於テ、尖圓ノ突起アリ、**錐穎突起**スタイロイ
ド、プロセツシユス

丁
プロセツシユス、スタ
イロイ、デクユス

ト稱ス、腕ノ内側韌帶、茲ニ附着ス、其基礎ニ於テ
凹陥アリ、纖維軟骨、爰ニ附着シ、以テ尺撓關節ト、
撓腕關節ノ分界ヲ為セリ、又其后方ニ於テ溝ア
リ、尺腕伸筋ノ腱ヲ通ス、

撓骨

撓骨ラジハ、下臂ノ外側ニ位シテ、尺骨ヨリモ稍
ヤ下方ニ達ス、

幹アシヤハ、三角ニシテ、亦夕前后外ノ三面、及ヒ前

后内ノ三縁ヲ有ス、其内縁ハ、薄銳ニシテ、骨間膜

茲ニ附着ス、**外面**エキス、テ
ル、サ、ル、互、ル、スハ、圓形ニシテ、其

甲
マニユブリユム、マニユス
ホシール、ミニユス
カニナ、ミノル

中央ノ近クニ於テ、壓凹アリ、是レ、廻前圓筋ノ着
痕ナリ、**前面** サレテリス、ハ、扁平ニシテ、下方ニ
至リテ擴張シ、中央ニ於テ、淺溝ヲ有シ、乃チ長屈
拇筋ノ起端ヲ附着ス、

上端 トリス、ハ、正面ニ於テ、粗疎ナル隆起

ヲ有ス、亦夕**結節** シチエベロト稱ス、二頸筋ノ附着

スル所ナリ、其上方、少シ絞入スル所ヲ、**頸** 子ト稱

ス又其上方、扁圓ナル所ヲ、**頭** ト稱シ、其内縁ハ、

廣クシテ尺骨ニ联接シ、其上方ハ、凹陷シテ、上臂
骨ニ連合ス、

甲
ハイセビタル、チユ
ベロシテ
乙
セルウキス、又、コル
リユム
丙
カビユツト

甲
ヲロセツシユ、スタイ
ロイ、デイユス

乙
インシシユラ、セミ
リユナリス
丙
ホツサ、スカホイ、デア

下端 トリス、ハ、尤モ厚大ニシテ、正面廣ク

凹陷シ、下方ニ於テ、起線ヲ有シ、以テ限界ス、此線、

腕ノ囊韌帯ノ依附スル所ナリ、后面ハ、不正ニ凸

出シ、三溝ヲ有ス、此溝、兩旁ニ在ル者ハ、廣クシテ、

中央ニ在ル者ハ、細小ナリ、各伸筋ノ腱ヲ通シ、其

他、外側ニ於テ、又夕廣溝アリ、同ク腱ノ行路ナリ、

此溝ノ下方ニ於テ、三稜柱形ノ突起アリ、**錐穎突**

起 ド、プロイロイト稱ス、腕ノ外側韌帯、茲ニ附着ス

下端ノ内側ハ、横窩ニシテ、**半月窩** ハ、カガヴテト
稱シ、尺骨ノ頭ニ联接ス、下面ハ、大凹陷ニシテ、腕

關節面エカル、パル、サル、アル、キト稱シ、其面上、幽微十
ル起線アリテ、二部ニ分ル、其一ハ、船樣骨ニ連リ、
一ハ、半月骨ニ接ス、

尺撓兩骨共ニ、其全徑三分ノ一、上方ノ前面ニ於
テ、滋養孔アリ、上方ニ穿行シテ、血管ヲ通シ、以テ
骨髓ヲ願養セリ、

手骨

手骨ハ、其位面ヲ、下臂骨ト同一ニシ、而テ八箇ノ
腕骨、五箇ノ掌骨、十六箇ノ指骨ニ細分ス、

腕骨

甲ヲツキ、カル。ビー

腕骨

カル、パル、ボル、ン

ハ、其數、八個ニシテ、其位置、二列ナ

リ、第一列ハ、下臂骨ニ關節シ、第二列ハ、掌骨ニ聯

接ス、第一列ヲ、外側ヨリ算點スレハ、即チ船樣骨、

半月骨、楔狀骨、豆骨ノ四箇並在ス、第二列モ、亦夕

同側ヨリ算點スレハ、即チ大富稜骨、小富稜骨、備

頭骨、鈎狀骨ノ四箇並在セリ、

船樣骨

ス、カ、ラ、イ、ハ、ボ、ル、ン

第一列中ノ最大ナル者ニシ

テ、其位置、斜歛シ、其形式、長圓且ツ凸凹、即チ船ノ

如シ、外端ニ結節ヲ有シ、環狀靱帶ヲ附着シ、上方

ハ、撓骨、内側ハ半月骨ニ關節シ、下方ハ大小富稜

乙
ス、スカヲイ、テイユム
ヲ、子、ダキ、ユラール

甲
ヲス、リユナチユム
ヲス、セミリユナチユム

乙
ヲス、ギユ子一ヲルミ
ヲス、ヒラミダール

丙
ヲス、ビシヲラルミ
ヲス、ザプロチユンダム

骨、及ヒ備頭骨ニ連合ス、

半月骨ボリユナルハ、列中第二ノ大骨ニシテ、其式

方形、而テ亦々凸凹ナリ、上方ハ撓骨、外方ハ船様

骨、内方ハ楔状骨ニ联接シ、下方ハ備頭骨、及ヒ鉤

状骨ニ連合ス、

楔状骨ルキユ子ハ、其式、不正ナル三稜形ニシ

テ、外側ハ半月骨、及ヒ鉤状骨ニ關節シ、前方ハ豆

骨ニ联接ス、

豆骨ム、ボハ、列中ノ最小ナル者ニシテ、其形

式亦々不正ナル團圓ナリ、而シテ唯、楔状骨ニ联接

甲
トレ、ベジユーム
ヲス、トレ、ベジユーム
乙
ヲス、モルタニキユ
リユム、マジユ

乙
ヲス、トレ、ペイデス
ヲス、モルタニキユ
ユム、ミニユス

スルノミ、

大富稜骨トレ、ベジハ、第二列中、第三ノ大骨ニ

シテ、其形式不正ナリ、前面ニ於テ、溝ヲ有シ、以テ

撓腕屈筋ノ腱ヲ納通シ、外界ニ於テ、起線ヲ有シ、

以テ環状靱帯ヲ附着ス、上方ハ船様骨、下方ハ第

一掌骨ニ联接シ、内側ハ小富稜骨、及ヒ第二掌骨

ニ連合ス、

小富稜骨トレ、ペイハ、列中ノ最小ナル者ナリ、

其形式、不正ナル三稜柱状ニシテ、尖端直截シ、乃

チ楔木ノ如ク、其狭端ヲ前方ニ向ケ、以テ船様骨

全甲
ヲスカビテチユム
ヲスマグニユム

ト、第二掌骨ノ間ニ挿入シ、外側ニハ、大富稜骨アリ、内側ニハ、備頭骨アリテ相連合ス、
備頭骨 カビテト、ボトシハ、列中ノ最大ナル者ニシテ、突出セル首頭ヲ有シ、船様半月、鉤狀ノ三骨ニ聯接シ、其基礎ハ、不正ナル骰子形ニシテ、小富稜骨ニ連合シ、内側ハ鉤狀骨、下方ハ中三指ノ掌骨ニ關節ス、

全乙
ヲス、ヲンシヲルミ
ヲス、ヲンシナチユム

鉤狀骨 ヲンシヲルト、ボトシハ、列中第二ノ大ナル者ニシテ、其形式、不正ナル方形ナリ、前面ニ於テ、鉤狀ノ廣突起アリ、茲ニ環狀靱帶ヲ附着ス、上方ハ半月

骨、及ヒ、楔狀骨、外方ハ備頭骨、下方ハ終末二指ノ掌骨ニ連接ス、
腕骨ハ、都テ海綿質ヨリ造為シ、緻密質ノ薄層ヲ以テ、外表ヲ被包セリ、

掌骨

掌骨 ノタカト、ボトシハ、其數、五個ナリ、即チ聯接セル指骨ニ應ス、而テ其種、長骨ノ屬ニシテ、全徑稍ヤ前方ニ屈曲ス、

幹 シヤト、ハ、三角形ニシテ、后面ハ凸出シ、兩側面ハ

共ニ斜傾シ、乃チ前方ニテ相會合ス、

甲
ヲツサ、ノタカレビ

甲カピチユリユム

上端ト端ル又エ基礎スハ、方形ナリ、而テ其联接セル、腕骨ノ差異ニ隨テ、各異ノ證據ヲ有ス、

下端ス口リ左ルエキハ、球狀ノ頭ト有シ、且ツ其各側ニ於テ小窩及一對ノ結節ヲ有シ、韌帶ヲ附着ス

掌骨中、拇指ハ、最短最大ニシテ、且ツ余骨ニ接着スルヲ十ク、獨リ離披セリ、其餘ハ、末指ニ至ルニ隨ヒ、漸次ニ短小シ、殆ト相并行シテ、上端ハ互ニ接着ス、且ツ此部ハ、掌中ニ於テ、其運動尤モ僅少

ナリ、而テ各骨ノ中間ヲ骨間シユトルヲト稱シ、同名筋ヲ以テ充填セリ、

指骨

甲 テジチー、ダクテリ
 乙 テジチユス、プリミユス
 丙 テジチユス、インデキス
 丁 テジチユス、ノジユス
 戊 テジチユス、アンニユラリス
 己 テジチユス、バルヴユス
 庚 テジチユス、ポーン

指トノ稱目ハ、外側ヨリ、其順序ヲ逐テ、揭示ス

レハ、第一ト拇指、第二ト示指、第三ト中指、第四ト環指、第五ト小指

有シ、其餘ハ皆十三骨ヲ有ス、之ヲ指骨トシテ又指節トヨイト稱ス、

五指中、中指ハ、最長ニシテ、環指、示指ハ、之ニ次キ、

而テ二指ノ長サ殆ト相同シ、小指ハ、拇指ヨリモ長ク、拇指ハ、尤モ強大ニシテ、且其末骨モ、餘ノ諸指ニ比スレハ甚大ナリ、

甲ノタカル。ハル。フ。ア。シ。ジ

第一列指骨ヲイスト、ロシ、ハ、他列ヨリモ、最大ニ

シテ、半圓柱形ノ幹ヲシトヤヲ有シ、其后面ハ凸出シ、

前面ハ扁平ニシテ、側面ニ於テ、起線ヲ有シ、室韌

帶ヲ附着ス、上端トトリミル、テエキス又基礎スベハ骨

中尤モ膨大ナル部ニシテ、凹陷セル關節面ヲ造

リ、以テ掌骨頭ニ联接シ、各側ニ於テ、結節ヲ有シ、

以テ側韌帶ヲ附着ス、下端イシトトリミル、テハ、滑

甲三ツトル。フ。ア。シ。ジ

車狀ノ關節面ヲ造リ、第二指骨ニ联接ス、即チ之ヲ滑車コトト稱ス、且ツ各側ニ於テ、淺窩アリ、是レ側韌帶ノ着痕ナリ、

第二列指骨ヲセコ、ラド、ロシ、ハ、其造構、第一列ニ於

ケル如シ、唯タ彼ノ滑車ニ連合スル處ニ於テ、二

様ノ凹面ヲ有スルノ差異アルノミ、

第三列指骨ヲサルト、ロシ、ハ、他列ヨリモ、最短ニ

シテ、其基礎ノ造構ハ、第二列骨ニ於ケル如シ、其

幹ハ、尖圓狀ニシテ、稍々壓平シ、末端ニ於テ、粗疎

ナル結節ヲ有シ、指頭ノ軟部ヲ附着ス、

乙。フ。ア。シ。ジ。ス。ラ。ギ。チ

甲ヲサセサモイテア

拇指ノ掌骨ハ其頭ノ前面ニ於テ、並列セル二個
ノセサム骨 ドボ モイ アリ、其形式楕圓ニシテ、凸
 面ト關節面ヲ有シ、短屈拇筋ノ腱中ニ包藏ス、而
 テ凸面ヲ手掌ニ向ケ、關節面ハ、即チ拇指掌骨頭
 上ニ運轉ス、

下肢骨

下肢ハ、尻骨盤ノ下、即チ大腿骨ノ聯關スル處ヨ
 リ起リ、三十二骨ヲ以テ造成ス、曰大腿骨一、膝蓋
 骨一、小腿骨二、足跗骨二十八個是ナリ、

大腿骨

甲ヲスエモリス
全ソリユム

大腿骨

五ミユル ヲル 共、骸骨中、最モ大且長ナ
サイ、ボ シ ル、ル者ニシテ、上方ハ、脛骨ヨリ始リ、下方ハ、小腿骨

ニ達ス、

幹

フシヤ ハ、圓柱狀ニシテ、后方ニ於テ、縦徑ニ突出

セル 起線 アリ、粗疎線 アス ビ ロ ト 稱ス、前及ヒ

側方 ハ、滑澤ニシテ、四頭伸筋ノ所領ナリ、彼ノ起

線 ノ 中央 ハ、銳削ニシテ、諸筋ヲ附着シ、上部ハ、唯

粗疎 ナル ノ ミ ニ シ テ 分岐 シ、即チ兩轉子ニ至リ、

下部 ハ、發育幽微ニシテ、亦タ分岐シ、即チ兩髌ニ

至ル、此兩髌ノ中間、自ラ三角面ヲ存シ、以テ膝膈

甲トロカシテレス
全ロテートレス

底ヲ成セリ、

幹ノ上端ハ、大小ノ二突起ヲ有ス、共ニ轉子トロカシ

ト稱ス、大轉子ロドリカシトトハ、外方ニ在テ、尤モ

高處ニ位ス、其外面ハ、粗疎ニシテ凸出シ、斜線ヲ

有シテ、中脛筋ヲ附着ス、内面ハ、狭小ニシテ一窩

ヲ呈ス、之ヲ轉子窩トロカシトト稱シ、小脛股筋

内外鎖孔ノ羈附スル所ナリ、小轉子トロカシト

ハ、圓キ隆起ニシテ、後内方ニ位シ、免筋及ヒ腸骨

筋ノ依附スル所ナリ、

兩轉子ノ中間ハ、前後共ニ聯結線アリ、轉子間線

乙ボツトロカシテリカ

丙リニアトロカシテリカ

甲セルヴェキス
全コルシム左モリス

乙カピユット、左モリス

イントルトロカト稱ス、其后線ボステリヨハ、尤

モ突起シテ、股方筋ヲ附着ス、前線アンテリヨハ、

發育幽微ナレバ、其長キフ後線ニ倍セリ、

轉子及ヒ聯結線ヨリ、上内方ニ突出シテ、幹ト鈍

角ヲ爲セル部アリ、頸トモキ、ユルト稱ス、其形式、

圓柱狀ニシテ、前後ヨリ壓平シ、濶大ナル基礎ヲ

以テ、幹ニ接着ス、其上端ヲ頭ドットト稱シ、球形ニシ

テ、軟骨ヲ被包シ、髌白ニ聯關ス、頭ノ内側ニ於テ、

一小窩アリ、膝關節ノ圓韌帶ヲ附着スル所ナリ

下端ストリノハ、尤モ濶大且堅實ナル部ニ

甲
ホ、サイントルコン
デロイター
全ホツサ、ポブリター

乙
チユベロシタス、コ
ンデリー

シテ、二個ノ大結節ヲ有ス、之ヲ髌コルデト稱ス、
 蓋シ后方ニ於テハ、二髌相分レテ、其内ニ深截間
 ヲ有ス、之ヲ髌間窩ダイントルコト稱ス、前方ニ
 於テハ、二髌聯續シテ、滑車様ノ關節面リロコヲ
 成ス、膝蓋茲ニ運轉セリ、内髌コインデルナル、ハ、巨
 大ナリ、外髌レ、エキスデルナルハ、稍ヤ小ニシテ、尤モ
 前方ニ突出ス、兩髌ノ側面ニ、小結節シチユベロア
 リ、以テ膝關節ノ側韌帶ヲ附ス、其外結節ノ下ニ、
 半月窩アリ、膝膈筋腱ノ起因スル所ナリ
 大腿骨ハ、之ヲ鉛直ニ立置スレハ、外髌ヨリモ内

髌大ニ長ク、而テ大轉子ノ頂上ト、骨頭ト、其高サ
 殆ト齊等ナリ、然レモ、自然ノ位置ニ於テハ、大轉
 子斜傾シテ、乃チ兩大腿骨ノ下端ハ、近接シ、上端
 ハ、遠隔セリ、故ニ二髌ノ關節面ニ於テ高低ナク、
 而テ大轉子ノ頂上ト、骨頭ノ中心ト、水平線ニ居
 ルナリ、

此骨、婦人ニ於テハ、男子ヨリモ、其頸部長ク、且ツ
 其突出ノ度、幹ト正ニ直角ヲ爲ス、故ニ大腿骨尤
 モ斜傾シテ、上端尤モ遠隔スルニ至ル、
 粗疎線ノ中央ノ内側ニ、一二個ノ滋養管アリ、上

方ニ穿行セリ、

膝蓋骨

膝蓋骨パテラハ、或ル解剖家ノ説ニ從ヘハ、

恰モ上肢ニ於ケル、肱突起ノ擬似ト為シ、又或説

ニ從ヘハ、膝關節ノ正面ニ占位セル、四頭伸筋ノ

腱ニ附屬スル、セサム骨ト為セリ其形式、栗子狀

ニシテ、尖端ヲ下方ニ垂レ、強韌帶ヲ以テ、小腿骨

ニ附着ス、基礎ハ、厚フシテ、四頭伸筋ノ腱ノ依附

スル所ナリ、
前面ハ、粗疎ニシテ凸出ス、后面ハ、橫長圓ノ關節

甲
口キユラ
全
工、ビ、コニス
全
セサモイ、テイユム、マ
フニユム

面ヲ有シ、其中央ニ起線アリテ、二部ニ分レ、茲ニ
運轉セル、大腿骨ノ滑車ニ對合ス、
其造構ハ、渾然海綿質ニシテ、外表ハ、緻密質ノ薄
層ヲ以テ被包セリ、

脛骨

脛骨ハ、小腿輔腿ノ二箇ニシテ、相并列シ、甲ハ、上

方ニ於テハ、獨リ大腿骨ニ關節シ、下方ニ於テハ、

乙ト共ニ距骨ニ联接ス、故ニ脛ヨリ以上ナル、渾

身ノ壓重ハ、但タ小腿骨ノミニ承受シ、以テ足部

ニ傳達ス、蓋シ輔腿骨ノ功用ハ、唯諸筋ノ附着面

甲ク子三
全アロク子ミユーム
全ホシレ、マジユス

ヲ、廣宏ニスルノミナリ、
小腿部

小腿骨

シ、ビ、ア、ヲ、ル、ハ、骸體中、第二ノ長大骨ニシ

テ、脛ノ前内部ニ位シ、鉛直ニ股骨ヨリ跗骨ニ達

ス其式、三稜柱形ノ幹ヲ有シ、上端尤モ濶大ナリ、

而テ内外後ノ三面、及ヒ前后外ノ三縁ヲ具シ、其

縁皆十銳削タリ、

内面

ル、イ、ン、子、ル、サ、ハ、滑澤ニシテ、稍ヤ圓凸シ、直ニ

皮下ニ接ス外面

ル、ア、ウ、ト、ル、サ、ハ、諸筋ノ領スル所

ニシテ、其上方ハ、幽微ナル溝痕ヲ有シ、下方ハ、圓

甲クリスタ
全ス、ピ、十

凸シテ、前方ニ傾向ス後面

ハ、ボ、ス、テ、リ、ヨ、ル、ハ、扁平

ニシテ、亦タ諸筋ヲ以テ被覆シ、其上部ニ於テ、幽

微ナル斜線ヲ畫シ、以テ膝膈筋、附着面ノ下界ヲ

証セリ、

前縁

ル、ア、ボ、ン、テ、リ、ヨ、又、骸、ス、ク、ト、レ、又、臙、ン、シ、ハ、齧齧トシテ

彎曲シ、中央尤モ銳削ナリ、外縁

膜ヲ附着ス、后縁

ル、ボ、ス、テ、リ、ヨ、ハ、諸筋ヲ附着ス、而

テ他ノ二縁ヨリモ、其銳削減少セリ、

上端

キ、シ、ユ、ペ、リ、ヨ、ル、エ、ハ、骨中尤モ堅實ノ部ナリ、

濶大ニシテ、頭

甲
コングテリ
全
チユベロシテース

面ハ凸隆シ、其形式恰モ後方ニ壓出セルカ如ク、
幹ノ后上方ニ懸垂ス。兩側方ニ於テ、突出セル所
アリ、共ニ髌コルンデト稱ス、其周縁厚ク鬆疎ニシ
テ、上方ニ平滑ナル楕圓面ヲ有シ、軟骨ニ被覆
シ、以テ大腿骨髌ニ聯關ス。其内關節面ハ、前后ニ
長涉シ、且ツ同方向ニ凹陷ス、然ルニ、外關節面ハ、
却テ稍ヤ凸隆セリ、而テ兩面共ニ相隣接セル各
縁ノ中央ニ於テ、小キ三稜形ノ隆起ヲ為ス、之ヲ
棘狀突起ス。ヒノリス、ト稱ス、其基礎ハ、各半月軟
骨、及ヒ十字靱帶ノ附着スル中點ナリ。此突起ノ

乙
エミ子シキア、コン
デーロイデア
全
エミ子シキア、イン
テルコングデーロイデア
全
ス、ピナ

甲
チユベロシタス、チヒア
全
チユベロシキユリユム

兩間ニ粗疎ナル凹陷部アリ、前后ニ進涉シ、以テ
關節面ヲ分界セリ。外髌ノ后部ノ下方ニ於テ、小
キ平滑面アリ、軟骨ニ被包シ、以テ輔腿骨頭ニ
联接ス。
頭ノ前面ノ下方、即チ髌ノ起端ニ於テ、顯著ナル
隆起アリ、結節シチユベロト稱ス、膝蓋骨ノ靱帶ヲ
附着ス、

下端ストリ右ル、エキモ、亦夕濶大ニシテ、其終際、正
ニ方形ナリ。前面ハ、滑澤ニシテ凸出シ、下方ニ銳
縁アリテ限界シ、踝關節ノ囊靱帶ヲ附着ス。后面

甲カピキユリユム

乙アウトルアニクル
ボ一ニ

線ハ骨間膜ヲ附着セリ外面ルアウトルスハ上部
 ハ前方ニ傾向シテ溝ヲ有シ下部ハ后方ニ傾向
 セリ后面サポステリヨルハ凸隆シテ上部ハ外方
 ニ傾キ下部ハ内方ニ傾ケリ
 上端トリミルハ亦夕膨大シテ頭ドヲ造為
 シ、兩側尤モ突出シテ、韌帶及ヒ二頭屈筋ノ腱ヲ
 附着ス、而テ其内部ニ於テ、小キ滑面ヲ有シ、以テ
 小腿骨ノ外髁ニ關接ス、
 下端ストリミルハ上端ヨリモ、却テ巨大ニシ
 テ、小腿骨トノ關節下ニ延長シ、而テ、跗上ノ外髁

エキステルナル、マルレヲ造成ハ外踝ハ、内踝ヨ
 リモ大ニシテ、且ツ突出シ、三角ノ滑澤ナル關節
 面ヲ有シ、以テ距骨ノ外側ニ聯接シ、即チ踝關節
 ノ一部ヲ為ス此關節面ノ后方ニ於テ、一窩アリ、
 踝關節ノ外側韌帶ノ着痕ナリ又窩ノ上方ニ隆
 起アリ、韌帶ヲ以テ、小腿骨ニ聯接ス外踝ノ前部
 ハ、亦夕凸出シテ直ニ皮下ニ接ス、后部ハ、溝ヲ有
 シテ、輔腿筋ノ腱ヲ通ス、

幹ノ后面ノ殆ト中央ニ於テ、滋養管アリ、亦夕小
 腿骨ニ於ケル如ク、下方ニ穿行セリ、

足骨

足骨ハ其位置脛骨ト直角ヲ為シ、而シテ跗骨七、蹠骨五、趾骨十六箇ニ細分ス、

跗骨

跗骨タルサルハ其數七箇ニシテ、即チ距骨、跟骨、船樣骨、骰子骨、及ヒ三箇ノ楔狀骨是ナリ、

距骨

距骨アスタラ又アインクル踝骨ハ跗骨中、第二ノ大骨ニシテ、最高ノ處ニ位ス、蓋シ脛骨ト聯關スル者、特リ此一骨ノミボデ后部ハ、即チ體ト稱シ

甲
ラツサ、タルシ
プラシタ、プリマ

乙
タリユス
クワトリヲ
全
ジアベボス
カウ井キユラ

Handwritten notes in the top margin of the left page.

方形ニシテ、兩髁ノ間ニ納容シ、其上面ハ、縱徑ニ凸隆シ、横徑ニ稍ヤ凹陷シテ、小腿骨トノ關節面ナリ、而テ側方ニ至テ、壁立セル關節面ヲ造リテ、兩髁ニ連合シ、且ツ下方ノ后外部ニ於テ、凹陷セル關節面ヲ有シ、以テ跟骨上ニ安乗ス、

體ノ前方ハ、即チ頸キト稱シ、其末端ハ、即チ頭ト

ト稱ス、其前方ノ凸出セル關節面ハ、船樣骨ニ聯接シ、下方ノ關節面ハ、跟骨ニ連合ス、而テ此面ト體ノ下方ノ關節面トノ間ニ、深溝アリ、跟骨ノ同溝ト相合ス、是レ骨間靱帶ヲ受容スル所ナリ、

甲
ヲス、カルシス
全
カルカ子ユス
全
カルカル、ペジス

跟骨

跟骨甲カルカ子ユム、ホロンヲハ、跗骨中ノ最大骨ニシテ、
距骨ノ下方ニ位シ、其式不正ナル長方形ニシテ、
遙ニ后方ニ達シテ、足踵ノ基礎ヲ造リ、又々前方
ニ進ンテ、殆ト距骨ヲ超過セリ。上部ニ於テ、正面
ニ不正ナル大窩アリ、其内ハ、中央ノ粗疎部ニ因
テ、二箇ノ關節面ヲ有シ、共ニ距骨ニ联接ス、而テ
其大關節面ハ、凸出シテ窩ノ后方ニ位シ、他ノ一
面ハ、細小ニシテ凹陥シ、内側ニ在ル側突起ララテ
ラル上ニ位ス。大窩ノ前方ニ於テ、壁立セル關節

乙
プロセツシユスラテラ
リス
全
シヨステンタキユ
リユム、ターリ

甲
チユベロシタス、カ
ルカ子
全
タリユス

乙
グリートル、エント
レツサルチユベロシテ

丙
シニユラシテ

面アリ、骰子骨ニ联接ス、

后端ハ、大ナル凸隆ニシテ、甲結節チユベロト稱ス、

其下部ハ、即チアシレス腱ノ附着スル所ナリ。結

節ノ上面ハ、鞍状ニシテ、尋常足踵ノ上部ニ於テ、

各側ノ凹陥セシ所ナリ、底面ハ、中分シテ、又々二

箇ノ乙結節チユベロヲ為シ、足蹠筋及ヒ其筋莖ヲ附

着ス。此結節ノ前方ニ於テ、一條ノ鈍線隆起セリ。

外側面ハ、壁立シテ粗疎ナリ、内側面ハ、側突起ト

偕モ二、丙凹陥コシカヲ造リ、即チ屈筋腱及ヒ足蹠

血管神経ヲ通ス、

船樣骨

船樣骨 ド、ホ、カ、ホ、イ、ハ、足跗ノ内側ニ位シ、其形式楕

圓ナリ、后方ハ、凹陥セル關節面ヲ有シテ、距骨頭

ヲ受容シ、前方ハ、凸出シテ三箇ノ關節面ヲ有シ、

以テ三箇ノ楔狀骨ニ联接ス、上下ノ二縁ハ、粗疎

ニシテ、内側部ハ、結節シテ、シテ、ユ、バ、ロヲ造リ、后小腿筋

ヲ附着ス、

骰子骨

骰子骨 ド、キ、ユ、ボ、イ、ハ、足跗ノ前外部ニ位シ、其大サ、

跗骨中ノ第三タリ、上面ハ、粗疎ニシテ、外方ニ傾

申
ラス、スカホイ、テス
全
ラス、スカホイ、テ、ユム
全
ラス、ユ、ヅ、井、キ、ユ、ラ、レ

乙
ラス、キ、ユ、ボ、イ、テ、ス
全
ラス、キ、ユ、ビ、ア、ラ、ル、ム
全
ラス、キ、ユ、ボ、イ、テ、イ、ユ、ム

向シ、下面ハ、亦々粗疎ニシテ、結節シテ、チ、ユ、ベ、ロヲ有

シ、以テ跟骰韌帶ヲ附着ス、又其前方ニ於テ、一溝

ラ、グ、レヲ有シ、以テ長輔腿筋ノ腱ヲ通シ、后方ハ、壁

立セル關節面ニシテ、跟骨ニ联接シ、前方ハ、二箇

ノ關節面ヲ有シ、以テ外側二箇ノ蹠骨ニ联接シ、

内面ハ、亦々粗疎ニシテ、殆ト中央ニ於テ、小キ關

節面ヲ有シ、以テ外楔狀骨ニ联接ス、

楔狀骨

楔狀骨 ル、キ、ユ、子、フ、ラ、三個ニシテ、船樣骨ノ前方

ニ位シ、一列ニ並居ス、其形式ハ、目稱ノ如ク、即チ

甲
ラス、キ、ユ、子、フ、ラ、ミ、ア
全
ラス、ケ、ル、コ、イ、テ、ア

后端 ホス トリヨル 又基礎 スハハ 尤モ膨大シ

一般ニ方形ナレトモ其容貌ハ各骨同シカラズ第一

一骨ノ基礎ハ下部ニ於テ **結節** ルチユルベ ヲ有シ長

輔腿筋ノ腱ヲ附着ス次キ三骨ノ基礎ハ楔状ニ

シテ互ニ隣接シ以テ足跗ヲ凸隆セシメ足蹠ヲ

凹陷セシム末骨ノ基礎ハ外后方ニ延長シ **結節**

チユベロヲ造リ短輔腿筋ノ腱ヲ附着ス外側四

骨ノ基礎ハ其各側ニ對向セル滑面ヲ以テ互ニ

隣接シ而テ内側三骨ノ基礎ハ楔状骨ニ隣接シ

外側二個ノ基礎ハ骰子骨ニ連合ス

前端 アシ トリニ 又 **頭** ドヘツ ハ其造構掌骨ニ於

ケル如シ然レモ第一骨ヲ除クノ他ハ其長徑ニ

比スレハ甚小ナリ

第一骨ハ最短ナレモ強大ナルヲハ他ニ二倍モ

リ第二第五ハ最長ニシテ殆ト同等ナリ第三第

四ハ之ニ準次シ亦殆ト同等ナリ

蹠骨ハ都テ互ニ平行シテ相偕モニ足跗ノ凸隆

ト足蹠ノ凹陷トヲ助成ス而テ其平行ノ中間ヲ

骨間 イシ テル スペル ス ヲト稱ス

足趾骨

甲 テレチ。ベジス

乙 ホルレキス、ベジス
ハルリユキス

丙 アルチキユリ
イニテリ、シア、デ
シトリユム、ベジス

足趾 ト 一 ハ 内側ヨリ算點スレ ハ 即チ第一趾 ト
ト 又 大趾 ト ク トリ ト 第二趾 ト セ ト コ ト 第三趾 ト サ ル ト
ト 又 小趾 ト リ ト ル 是 ナ
第四趾 ト 又 第五趾 ト 又 小趾 ト リ ト ル 是 ナ
リ、其長徑ハ、第一ヨリ、終末ニ至ルニ隨ヒ、漸次ニ
短小シテ、其骨數ハ、手指ニ於ケル如シ、而テ其一
片ヲ、趾骨 ト 又 趾節 ト ヨ イ ト 稱シ、形式亦夕
指骨ニ於ケル如シ、然レモ大趾骨ハ、長クシテ、拇
指骨ニ比スレハ、尤モ強大ナリ、而テ其他ハ、皆ナ
唯甚小ナルノミ、

第一列趾骨ハ、大趾ヲ除クノ他、其幹ノ形式、皆十
指骨ニ於ケル如シ、然レモ、唯側方ニ壓平シテ、圓
柱狀ヲナスノ差異アルノミ、
第二列及ヒ第三列ハ、外側二三趾ニ於テハ、其兩
端近接シテ、骨幹喪ハスルニ至レリ、又小趾ニ於
テハ、第二第三列共ニ、生合シテ、一骨タルヲアリ、
大趾ハ、拇指ノ如ク、二箇ノセサム骨 ト セ サ ム 骨 ト セ サ ム 骨
リテ、乃チ亦タ同シク、大趾ノ蹠骨頭上ニ位セリ、

發兌書報

新井古共齋

大英公府蘇蘇書局印

海峽義舍

